

27年度「EGおおさか推進ネットワーク」活動報告①

第1回EGおおさか推進ネットワーク定例交流会（H27.9.16）

参加者：66名

【基調講演】

（公財）川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター 管理部長 櫻井亨氏
「地域活性化を目指して ～産学・産産連携・川崎モデル～」

【事例発表】

- （1）堺商工会議所 経営支援部経営支援課 課長 藤見淳一氏「創業支援から創業後の支援へ」
- （2）豊中市立千里図書館 司書 久山理恵氏「豊中市立図書館のビジネス・就労支援サービス ～連携と協働を軸に～」
- （3）近畿大阪銀行 経営管理部 CSR推進室長 寺川喜夫氏「近畿大阪銀行における中小企業支援の取組みについて」
- （4）高知工科大学 研究連携部 研究連携専門監 佐藤暢氏「産学官民連携によるイノベーション創出 ～高知県での取組み～」

【事業告知タイム】さかい新事業創造センター、中小企業基盤整備機構近畿本部、忠岡町商工会、日本政策金融公庫、大阪市経済戦略局、御所市商工会



第2回EGおおさか推進ネットワーク定例交流会（H27.11.26）

参加者：50名

【基調講演】

同志社大学 商学部 准教授 関智宏氏
「中小企業のネットワーキングとビジネスの深耕 ～タイでの取組みから～」

【事例発表】

- （1）（公財）大阪市都市型産業振興センター チーフプランナー 長谷川新氏
『新分野・ニッチ市場参入事業化プロジェクトの取組報告』
- （2）大阪商工会議所東支部 事務局長 友田裕之氏
『「少人数事務局でもできる！ロボットビジネス研究会の取組報告」～商工会議所と大学と企業、R.Iによる連携～』
- （3）兵庫県立農林水産技術総合センター次長 西川嘉彦氏「淡路はたらくカタチ研究島～島と生きる。しごとをつくる。～」の取組み』
- （4）近畿経済産業局 地域分析システム普及活用支援調査員 小山泰志氏『地域経済分析システムRESAS（リーサス）の可能性』

【事業告知タイム】わかやま産業振興財団、堺商工会議所、池田泉州銀行、忠岡町商工会、大阪府ものづくり支援課



27年度「EGおおさか推進ネットワーク」活動報告②

第3回EGおおさか推進ネットワーク定例交流会（H28.2.5）

第3回の定例交流会は「地域経済コンシェルジュ養成研修」の成果発表会として実施。

参加者：36名

【研修生によるショートプレゼン会】

当日は、12機関20名の研修生による企画案の発表を行った。

講評：拓殖大学政経学部 教授 山本尚史氏、りそな総合研究所 リーナルビジネス部長 藤原明氏
大阪府ものづくり支援課 小山庸子



【修了証書授与式】25名の地域経済コンシェルジュを養成、認定を行った。

第4回EGおおさか推進ネットワーク定例交流会（H28.3.18）

参加者：52名

【基調講演】株式会社テクノ・エージェンツ 代表取締役社長 黒野剛氏「IoTで何が変わる？ ～事例紹介と弊社での取り組み～」

【事例発表】

- (1) 大阪工業大学 工学部環境工学科環境ものづくり経営研究室 准教授 皆川健多郎氏
『産官学連携によるものづくりカイゼン人材育成の取り組み』
- (2) 大阪狭山市商工会 経営指導員 濱尾哲也氏『大阪狭山市商工会の人材育成と新たなネットワークづくりの取り組み』
- (3) 池田泉州銀行 リレーション推進部 主任調査役 真鍋充宏氏『池田泉州銀行における地方創生関連の取り組み』
- (4) わかやま産業振興財団 経営支援部長 兼 和歌山ものづくり経営改善スクール 校長 永井達郎氏
『和歌山ものづくり経営改善スクールの狙い』

【事業告知タイム】奈良工業高等専門学校、忠岡町商工会、日本政策金融公庫、和歌山大学、
大阪府（東大阪高等職業技術専門学校、就業促進課、ものづくり支援課）

定例交流会では、各回アンケートを実施しており、参加者からは80%を超える満足度をいただいている。

【交流会参加者の声：アンケートから一部抜粋】

- ・部外者ながら参加させていただき、各市町村がEGというフレームの中で有益な連携をとられていることに感動しました。本県においてもEGという枠組みを取り込んで地方創生を実現させたいと思っています。広域連携などで今後とも関係を深めさせてください。（他県金融機関）
- ・大阪府さんの企業との関係づくり、コミュニケーション、様々な行動（職員自らが企画を実施）を本市にも少しでも導入したいと思いました。（他府県市町村）